



2020 年度
第 22 号

体育市民連帯 ニュースレター

“望ましい体育社会”

体育市民連帯と

皆さんと一緒に

作っていくことができます

私たちの連帯の活動に

積極的に参加下さる事を

希望します。

1 スポーツ人権の重要性

オリンピックのメダル 100 個
より選手の命が重要だ



2 スポーツ暴力の被害

関連部署は
拙速な対応に終始



3 「崔スクヒョン法」発議

国民体育振興法改正案で
スポーツ倫理センターの権限と
義務拡大で 2 次被害防止を



4 大韓体育会

スポーツ暴力根絶体育団体長
決意大会突然中止



5 スポーツ暴力関連記事



01 ハンギョレ 2020.7.9

【 オリンピックのメダル 100 個よりも選手の命が重要だ 】



9 日午前、ソウル汝矣島国会議員会館で開かれた「故崔スクヒョン選手死亡事件の真相究明とスポーツ暴力根絶、スポーツ構造改革のための国会緊急討論会」で参加者が発言している。

聯合ニュース

9 日、国会議員会館の会議室で開かれた故崔^{チェ}スクヒョン選手死亡事件と関連したスポーツ人権団体討論会で、選手暴力のくびきから脱するためには、オリンピックのメダル中心主義から脱しなければならないという指摘が出た。

ジョン・ヨン Chol 文化連帯共同執行委員長（西江大教授）は「(来年に行われる) 東京オリンピックでメダルを取れなかったらどうなのか。オリンピック金メダル 100 個よりも、選手の命が重要だ」とスポーツ人権の重要性を力説した。

ホ・ジョンフン 体育市民連帯共同代表（中央大教授）は実業チームの選手 4 千人を調査して 1,251 人の答えを聞いた資料を提示し、「身体暴力を経験した選手が 26.1%（326 件）であり、最も多い暴力の理由は加害者の気分が良くなって（38.5%）であった」とし「加害者の懲戒情報システムの構築と体系化された人権ガイドラインの制定が必要だ」と述べた。ハム・ウンジュス スポーツ人権研究所研究委員は、加害者を厳しく処罰した国外の事例をあげて「大韓体育会は責任を負わなかったし、文体部は体育会を管理できていなかった」と指摘した。

討論会に出席したト・ゾンファン 文化体育観光委員会委員長は、「昨年、スポーツ革新委が作成した勧告案に私たちがしなければならないことが全てある。選手たちが暴力のくびきから解放されるために、再び力を合わせなければならない。百の言葉より行動が重要だ」と述べた。

一方、この日の討論会に参加したフィギュアスケート有望選手の母は暴力指導者がまだスケート界で活動していると告発した。フィギュア選手の子供を持つチェ某氏は「過去に私の子供がフィギュアコーチに暴行を受け暴言を受けた。警察署に届けたが罰金 20~30 万ウォン止まりだという言葉聞いて力のない親ができることは多くなかった」と話を切り出した。続いて「2 次被害まで発生するのを見て、警察、関係機関等に陳情書を出したが助けを受けるのは難しかった。結局、昨年 9 月に大韓スケート連盟に陳情書を出し、11 月には指導者が 1 年の資格停止処分を受けた」と紹介した。チェ氏は、「これに反発して指導者が再審を申請したが、今回は追加被害者が加わり、その指導者の資格停止期間が 3 年に延びた。しかし最近、アイスリンクでこの指導者が子供を教える姿を見たという話が聞こえる」とし「スケート連盟に再度申告したところ、“個人レッスンまで止めることができない”という答えが返ってきた」と明らかにした。

*出典：http://www.hani.co.kr/arti/sports/sports_general/952954.html

【 終始拙速「スポーツ暴力」対応 現場より／李ウオンホン 】



朴ヤンオ文化体育観光部長官(左から四番目)が7日、政府ソウル庁舎で故崔スクヒョン選手関連ブリーフィングをしている。

文化体育観光部提供

「強い権限と責任を持った独立機構にします」

朴ヤンオ文化体育観光部長官は7日、政府ソウル庁舎で開かれた故崔スクヒョン選手の人権被害の関係機関対策会議で8月に発足したスポーツ倫理センターについて、このように語った。スポーツ倫理センターは、昨年ショートトラックのシム・ソクヒ選手が趙ジェボムコーチから暴行などをされた事実を暴露した後、推進された。政界と政府はスポーツ界で問題が発生するたびにスポーツ界関係者が身内かばい式の軽い処罰を下すと判断し、スポーツ界から独立した調査機関を作ることにした。今年の初め、国民体育振興法を改正してスポーツ倫理センターの設立根拠を作った。

しかし、すでに不十分であるとの懸念が出ている。朴長官は「強い権限」を強調したが実際にスポーツ倫理センターの調査権限はあまりない。関連法では人権被害関連の申告と受付をすることができるとだけされており、調査範囲と権限が具体的に明示されていない。既存の大韓体育会スポーツクリーンセンターと大きく異なることがない。関係者が拒否しても事実上、調査を強制する方法がない。

文体部はこのため、関係者を直接捜査する権限を持った特別司法警察官制度の導入を議論している。しかし、文体部が特別司法警察官制度を導入するには再び司法警察職務法を改正しなければならない。これに加え、民主党の朴議員などは最近、国民体育振興法を再改正するとして「スポーツ倫理センターに申告が受け付けられたら2週間以内に調査を完了するようにする」という内容を発議した。スポーツ倫理センターがより積極的に調査に臨めという趣旨だ。しかし現場では、「事実上の調査を強制する権限がないのに無条件に2週間以内に調査を完了するようにするということは不十分な調査を強要すること」と疑問の声が出ている。関連権限などがしっかり整えられていない状況の中、新たに付け足そうという内容も混乱のもとだ。

こうした中、国家人権委員会がムン・ジェイン大統領にスポーツ界人権侵害事件を調査する独立組織が必要であると勧告することが分かった。昨年2月に発足し来年2月まで一時的に運営される予定だった人権委スポーツ人権特別調査団を常設組織化しようとする動きである。人権委は調査を拒否した場合に過料を賦課できるなど、自分たちがスポーツ倫理センターより強制的かつ効率的調査をできる点を掲げる。しかし、人権委特別調査団の存在も崔スクヒョン選手の死を防ぐことはできなかった。崔選手が人権委を含めて6つの機関を回って助けを求めたのに無駄だったことを見ると、関係機関の数が増えることが重要なわけではない。

選手たちは勇気ある暴露と死によりスポーツ暴力追放を叫んでいる。しかし、政界と関係機関の対応の姿を見ると拙速で、自分の部署の広報に重点を置いている考えを消すのは難しい。

*出典：<https://www.donga.com/news/Opinion/article/all/20200710/101904166/1>

03 ハンギョレ 2020. 7. 10

【 李ヨン議員 “スポーツ暴力を防ぐための「崔スクヒョン法」発議” 】



未来統合党金ソッキ（左から）、李ヨン議員、故崔スクヒョン選手の父親崔ヨンヒさん、李ヤンス議員らが10日、国会疎通館で国民体育振興法改正案発議を説明している。

聯合ニュース

故崔スクヒョン選手の暴力事態を告発した未来統合党の李ヨン議員が10日、ソウル汝矣島国会疎通館で崔選手の父崔ヨンヒさんと一緒に記者会見を開き、スポーツ界の暴力事態の再発防止のための国民体育振興法改正案である、いわゆる「崔スクヒョン法」を発議すると発表した。

会見で李議員は「スポーツ界の性暴力・暴力問題担当機関であるスポーツ倫理センターが今年8月から正式に運営される予定だが、被害者の保護と権利が非常に制限的」だとし、「代表発議する国民体育振興法改正案でスポーツ倫理センターの権限と義務を拡大し、二次被害を防止する条項を入れる」と述べた。

改正案では、△スポーツ倫理センターの独立業務遂行保障、△公務員と機関・団体の役職員派遣要請権限の付与△暴力・性暴力申告者の緊急保護措置及び調査着手△通報者と被害者のための一時的保護施設の設置△申告者などへの不利益、妨害、取り消し強要、調査妨害行為などについて懲戒要求権などの内容が盛り込まれた。

李議員は「スポーツ倫理センターは申告資料の要求、職権調査権限などがなく有名無実である。通報の保護と2次加害禁止条項も抜けていた」と法改正の必要性を主張した。この日の一緒に記者会見に出てきた崔選手の父崔ヨンヒさんは「私たちの娘はどこも訴えるところなく極端な選択をした。悲劇的な事件がこれ以上発生しないように法的に制度を用意しなければならない」と国会の迅速な処理を要請した。

*出典：http://www.hani.co.kr/arti/sports/sports_general/953132.html

04 KBS NEWS 2020. 7. 10

【 大韓体育会「スポーツ暴力根絶体育団体長決意大会」突然中止 】



大韓体育会、暴力根絶の決意大会計画を発表二日後に突然中止
緊急対策会議の形式に変えて「会議非公開宣言」

大韓体育会（会長李ギフン）が13日に開くことにした「スポーツ暴力根絶体育団体長誓い決意大会」を突然中止した。

体育会は8日、報道資料を配布し、故崔スクヒョン選手事件のようなスポーツ界暴力再発防止のための「スポーツ暴力根絶、体育団体長誓い決意大会」を13日に開催すると発表した。

この決意大会は、当初同日開催する予定だった「大韓民国体育 100 年記念式」に代わって行われる予定だった。体育会は決意大会で会員種目団体長、市道体育会長、市郡区体育会長など体育団体長が集まってスポーツ暴力と人権侵害の予防教育を受け、スポーツ界の人権懸案などを共有し、体育団体長誓い決議文を朗読する予定だった。

しかし、体育会は報道資料配信二日で突然、決意大会を中止すると発表した。

体育会の関係者は KBS との通話で「一部の会員種目団体長と地域スポーツ会長の間で行事の名称や性格が不適切ではないか」という声が出て決意大会ではなく、他の性格の行事に置き換えると述べた。

結局、体育会は今日（10 日）午後「スポーツ暴力根絶誓い決意大会」という名称の代わりに全国体育団体長（市道体育会、会員種目団体）と一緒に議論する「スポーツ暴力追放緊急対策会議」に置き換えると発表した。

緊急対策会議は現在の状況への反省と大韓体育会をはじめとする各体育団体の役割について考え議論する場になるだろうと説明したが、体育会は対策会議を非公開で進行することにした。

これに対して各種目団体長と地域体育会長などスポーツ界の上層部がマスコミと国民の関心が集中している決意大会の性格のイベントで批判の視線が注がれることに負担を感じて非公開対策会議の形式に変えたのではないかと指摘が出ている。

*出典：<http://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=4491520>

05 【スポーツ暴力関連記事】

繰り返されるスポーツ界の暴力事態... “文体部、大韓体育会は改善の意志あるのか”

<https://www.pressian.com/pages/articles/2020070915511382394>

イム・オギョン、スポーツ暴力懲戒網強化法案発議

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20200708161400001>

崔スクヒョン：殴った選手たち... スポーツ界の暴力繰り返される理由は？

<https://www.bbc.com/korean/news-53306080>

選手暴力の理由 38%が「加害者の気分」... 懲戒情報公開すべき

<https://www.donga.com/news/Sports/article/all/20200710/101904406/1>

故崔スクヒョン選手、なぜ警察が最初に発見したのか

http://www.hani.co.kr/arti/sports/sports_general/952410.html

死に至った崔スクヒョン選手... 忘れられたシム・ソクヒの警告

http://www.hani.co.kr/arti/society/society_general/953193.html

「私の時はもっと殴られた」「殴られてこそメダル取れる」監督が暴力継承

https://news.chosun.com/site/data/html_dir/2020/07/06/2020070600077.html

12 年間暴力、非道対策 9 件出したが... 選手たちは殴られ続けた

https://news.chosun.com/site/data/html_dir/2020/07/07/2020070700283.html

スポーツ暴力事件 51%執行猶予「軽い判決」

<http://www.munhwa.com/news/view.html?no=2020070601070221336001>

鉄人崔スクヒョン倒した「暴力の日常化」... “子供の頃から洗脳”

https://www.ytn.co.kr/_ln/0107_202007052327597448

なぜ死ななければ答えないか... 崔スクヒョン選手が死亡 10 日後に開かれた体育会スポーツ公正委

http://news.khan.co.kr/kh_news/khan_art_view.html?artid=202007061929001&code=980701

「スポーツ界の暴力対策」まごつく人権委に内外の批判

http://www.hani.co.kr/arti/society/society_general/952761.html

第 2 の崔スクヒョン事態を避けなければスポーツ界も「加害者」

https://the300.mt.co.kr/newsView.html?no=2020071013297663691&MRO_P

暴力にも目を塞ぐスポーツ界の怪物たちのカルテル

<https://www.hankookilbo.com/News/Read/A2020070810240005729>

文体部スポーツ特別司法警察制導入... スポーツ界の暴力根絶方案改善

<https://www.mk.co.kr/news/sports/view/2020/07/696931/>

選手の死が呼んだスポーツ界人権侵害、今度は根絶を

<https://news.join.com/article/23817689>

体育市民連帯案内

万人が楽しむスポーツの世界、体育市民連帯と一緒に作っていきます。

体育市民連帯の会員として後援してください。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と福祉の実現のために努力しています。

あなたの小さな真心が、より良い世界のための体育市民連帯活動に心強い足がかりとなります。



体育市民連帯の会員として支援をしようという方は
下記の口座にご入金ください。

後援方法：

国民銀行 086601-04-095940 体育市民連帯

ハナ銀行 554-910002-82605 カン・シヌク（体育市民連帯）

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com